



帝京高等学校 MOVE Report

帝京特進、本領発揮！

特進コースは、現1年生が5期生。巣立った諸君の実りが力量を証明し、期待は確信へ。
志は、ますます高く。本領発揮は、これからです。

少数精鋭 心あたたまるファミリー 1年：27名 2年：19名 3年：26名

現在の特進コース各学年の生徒数です。授業は他コース生と混在せず、すべてこのメンバーのみ。かねてより、個々の今を見つめて、手をさしのべる親密な指導が信望を集めていました。少数精鋭コースでは、帝京が守り継ぐ教育文化が鮮やかに際立ちます。高2・高3の選択科目では、さらに少人数。例えば、高2地理授業は3名。物理は7名でレッスン。私立学校のなかでも、突出して贅沢な学びの舞台です。自己の可能性を最大限に活かし伸ばしたいのであれば、絶好の選択肢です。意欲があふれて、自学習習慣が整う勤勉な生徒ばかり。クラスは和やか。平和な学園生活で仲間と励ましあうから、自ずと上昇気流に舞います。頼もしい先生が、常に傍らでアシスト。師弟は互いに信頼を紡ぎます。ここは、心あたたまる家族のような「特進」です。

平成29年3月卒業生 特進コース 大学合格実績 卒業生数23名

千葉大学 [国際教養学部] (1名) / お茶の水女子大学 [理学部] (1名)
電気通信大学 [情報理工学部] (1名) / 慶應義塾大学 (2名)
上智大学 (1名) / 東京理科大学 (2名) / GMARCH合計 (17名)
北里大学 (1名) / 星薬科大学 (2名) / 明治薬科大学 (2名) ほか

先生の愛情×生徒の情熱 通常時8時間授業 夏期6時間授業

特に、高1、高2生は、一週間の大半が8時間授業(※)です。午後5時10分まで続きます。夏休みは10日ほど。ほかは、学期中とほぼ同じく通学します。夏の授業は、朝から午後に及んで6時間。全員が必修だから、自由参加の「講習」ではなく通常授業の延長です。コース生の目には、「1学期は8月のお盆前まで」と心得ているでしょう。

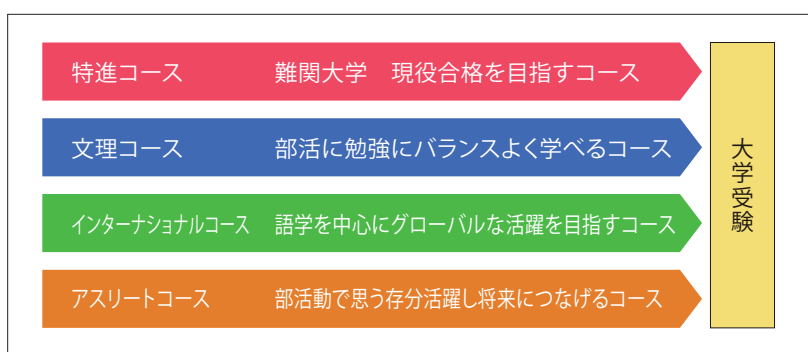
ここまで、授業時間を満たす高校は、類い希です。指導者は、子どもたちが徒労に終わらないよう、周到な計画を要します。長時間指導に労力を伴うでしょう。成し遂げる源は、帝京教諭陣にわき起こる愛情です。「タイハンそう…」と怖じけるのは大人。生徒諸君の表情は朗らか。当然のように励んでいます。彼らがやり遂げる源はあふれ出る情熱です。

※8時間目(16:20~17:10)は、曜日や選択科目によります。

■各学年 週間授業数

科目	1年次	2年次		3年次	
		文系	理系	文系	理系
国語	6	8	4	8 +自由選択	必修なし +自由選択
地理公民	4	9	2	6 +自由選択	必修なし +自由選択
数学	8	5 +自由選択	10	必修なし +自由選択	10
理科	6	必修なし +自由選択	8	必修なし +自由選択	4 +自由選択
英語	8	9		10	

■特進コースを含め、帝京高校には4つの道のりが整っています。



インターナショナルコースは2つの課程が整います。

- I 海外留学課程 (従来型)
第1学年第1学期終了直後より第2学年第1学期終了時までの約1年間、ホームステイ型の英語圏現地留学にチャレンジします。
- II 英語特化課程 (平成27年度より新設)
「将来は英語を使いこなしたい。でも留学はしない」生徒向けの、英語ネイティブの先生と学習活動を共にする機会が多い英語チャレンジ型です。

私たち、そろそろ本気モード！ 特進コース2年生からのメッセージ

ほぼ毎日、8時間目まで授業が続きます。入学直後は尻込みしましたが、すぐに慣れてしまいました。受験生の皆さん、安心してください。決して重荷ではありません。授業はすべて19名以下。和やかなムードです。楽しい授業ばかり。競争を煽って、優等生だけを大切にしようとするような冷たい先生は一人もいません。皆が心強い味方です。

＊

特進コース生は「難関大学進学」が使命です。クラスの仲間は、目標を高く掲げて努力しています。私たちは「対策」に追われているのではなく、高校生として学ぶべき知識・教養を蓄えているのです。「合格するために勉強する」というよりも、「勉強が好きだから、想いを叶えたい」が本心です。毎日の小テストで一步一步、進展を確かめています。帰宅後も備えなければなりません。2年生の家庭学習は最低4時間！先生から伝えられていますが、達成できないこともあります。反省しています。でも、私たちは余力十分！ 自信が漲ってきました。高2の夏、そろそろ加速しなければ。本気モードにシフトアップしようと意気込んでいます。

＊

高校時代、精いっぱい学んで、自分を高めたいと願っているのであれば、ぜひ、仲間に加わってください！帝京はキャンパスのすべてが明るく平和な学園です。

彼らの「本気」が楽しみです 担任の先生からのメッセージ

学期、大手予備校の模試で実力を試しました。Aさんは、偏差値70超。驚きました。彼女だけが突出しているわけではなく、皆が、追随しています。決して血眼になって気が張っているように映りません。日ごろは、むしろ、「もっと自力を発揮してほしい」と、無欲を案じていたほどです。でも、みくびっていました。「まだまだ本気ではない」と笑顔。頼もしく見守っています。

何が不足しているのか。何を補充するべきか。教員が指摘しなくても、彼らは、自身の今を的確に把握しています。好成績に達しているのにおごり高ぶらず謙虚。「まだ、苦手分野が残っているから」と、明日のテーマを定めています。ハイレベルな大学進学を目指していますが、「見栄」「欲張り」ではなく、ピュアな向上心が推進力。「合格したい」よりも、「学びたい」が先立つから、力まず自然体のまま前に向かって歩んでいるのでしょう。

＊

ハードなトレーニングを積み重ねて強引に鍛え上げるような指導は本意です。生徒自身が内に秘めたハートを燃やしたい。まず、教員が熱く発信。帝京の子どもたちは純真です。「先生が懸命だから」「先生が楽しそうだから」と、健気に応えてくれます。卒業まで、まだ1年半が残っています。彼らの「本気」が楽しみです。